山都町立潤徳小学校　学校だより

狭霧（さぎり）の朝

令和４年５月９日（月）　第８号

校　長　池部　聖吾智（みわとも）

「人生最大の娯楽は学びである」

東大の社会科学研究所などが小４～高３の学習意欲を調べたところ、「勉強しようという気持ちがわかない」という答えが５４％で、７年前に調査を始めて以来、最高だったそうです。

古代ギリシャのアルキメデスは、浮力と深い関わりのある「アルキメデスの原理」を浴槽の中で発見し、喜びのあまり、裸で町を走ったというエピソードがあります。

また、グロービス経営大学院の学長である堀義人氏は以前、日経産業新聞で次のように語っています。「結局、一番楽しいと思えるのは、昨日できなかったことが今日できるようになり、今日できることが明日にはもっとうまくできることになる、という自らの成長だ。そのためのプロセスであれば、つらいと思えることであっても楽しめるようになるものだ」

潤徳小の子どもたちは、めざす児童像３つのＷの一つ「わくわく」した気持ちで学習に臨めているのでしょうか？「学ぶ喜び」をしっかりと伝えていきたいと思います。

委員会の様子から　5/6(金)６校時　3年生以上のメンバーで構成

図　書

運　営

体育・環境

健　康

図書：　　さんの満面の笑顔が印象的でした。運営：「今月の誕生日」コーナー記入中。「あなたたちが書いてくれてたんだね！」体育・環境：朝の正門そうじの話が出されていました。健康：担当の増田先生が出張で不在でしたがしっかり活動していました。

潤徳抄

▼最近、寝る前の読書を復活。ここ数日間は、「心が『ほっ』とする５０の物語」（西沢泰生著・王様文庫）にハマっている。その中から一つの話を紹介する▼２０１１年１月、北陸地方に記録的な雪が降った日の出来事。特急サンダーバード４０号は大雪のため立ち往生。除雪作業の応援のため近くの駅から派遣された長田さん（仮名）はその雪量に呆然となった▼作業を始めて数時間後、車内から小学生くらいの女の子が手を振る姿に気づく。女の子は手に紙を持っていて「がんばってくれてありがとう☆おしごとがんばってください☆みんなより」と書いてあった▼長田さんは胸が熱くなるのを感じながら笑顔を返す。不眠不休の除雪作業となり、かなり過酷な作業だった。しかし、このメッセージは大雪と格闘する他の職員たちにも伝えられ、心が折れそうになる作業への力強いエールになったという▼人生は「ありがとう」のたった５文字を相手に伝えるか伝えないかで変わる。